



発行所 磐城日日新聞社 福島県磐城市若菜五 電話387番 編集長 櫻村 潤 発行人



何處に行く 高山母子寮と保育所

昨十八日磐城市議会臨時 高山保母所(五七坪、六八八)の議案は午前十時より開かれ、四議 議案あり、今後これの移転問題 案を一議案として、二議案を議長 一任として一日の日程で終了した 第一議案市有地売却に關連して 日本水産工業株式会社に売却す べき、市内高山、四〇一、畑地一 千八百八十六坪中、高山母子 寮(八十八坪、二十世帯七七人

遅延する泉校増築

兎角のウワサ生む 國興建設KK

磐城市泉小学校々舎増築設備 奉同市泉婦人会が中心となつて行 つている。 同校は老朽校舎の爲千年度中に 第一期工事として、兩層工教室 室工費八百六十九万九千九百八十 円、第二期工費KKの施工によつて 完成し、第三期工事として四教室 (二八坪)百五十万円を以て、 特命入札により同社が着工、九月 末完成の予定であつた。 同校建築が完成可成り期限を超過 してな未完成のため注視されて いる。

渡邊地区 農産品評会

磐城市渡邊地区では来る十月二 日、三日の二日間渡邊小学校講堂に於 いて、全地青年会主催の農作物品評 会を開催する。 なお、同時に渡邊小、中、小、中 校の作品展示会も行なう事になつて いる。

スト廿四時間延期

水素明日最後の團交

昨報、日本水素労組は年末手當要 求の爲、スト権を確立、税引四万 五千元、手取三万八千四百円、の 争議大委員会に於て討論の結果、 組合は全社側と団体交渉に入り、 昨十八日午後四時より、同団 交を開始した。 その結果、全社側は若干の歩みよ りを見せ、税引三万七千八百八十 円、手取三万七千四百円を、 全社側はさらに歩みよるを見せ

運送等三勞組 年末手當難航か

磐城市南有線電車社労組(一六三)

磐城市南有線電車社労組(一六三) 三三三)小名浜運送労組(一六三) 三三三)門井組労組(四四三)の各市 労協下組合の、年末手當の要求、 昨十八日午後四時より、同団 交を開始した。 その結果、全社側は若干の歩みよ りを見せ、税引三万七千八百八十 円、手取三万七千四百円を、 全社側はさらに歩みよるを見せ

結成近づく 少年消防クラブ

磐城市少年消防クラブ準備委員会 の第一回が昨十八日午前十一時、 市内小、中学校長出席のもと、 小名浜公民館日本間に開かれ、 席上組織化の問題を中心に議論さ れた。 昨十八日午後四時より、同団 交を開始した。 その結果、全社側は若干の歩みよ りを見せ、税引三万七千八百八十 円、手取三万七千四百円を、 全社側はさらに歩みよるを見せ

天気が予報

(明日)北のち西よりの風、朝の うち曇りから後晴れ、晴れ時々 雨、(明後日)西よりの風、晴れ時々 曇り、一時しづめることもありま しょう。(海上)今晚おやかにまし、 少、あすは日中の風が吹き、あ ざつても多少風浪のある見込み になります。

魚米市況

○鮮魚 小名浜魚市場 さんま九〇八九いかに一六〇〇ろ 二〇〇〇小名浜中央市場 たまご二二、二〇一、ねぎ六〇二二 〇八参七〇、五五、ほう九〇一六 〇馬鈴し七〇一〇、さつま四四 一八里も九〇一七〇

潮 流

磐城市を小名浜市に改 称しようとの論が出て、 旧江名町側は反対運動を 起し、小名浜市は切に その実現を望んでいる。この際、 情論は禁物だ。冷静に見て世間の 通りのよい、誰が見ても要する思 われる市名が一番いいのだ。 合併は済んだのだ、今度は内輪で 仲よく決めて貰いたい。「磐城市」 は従来の常識上は過激で、その 所在が誰にもピンと来ない感がある。 「小名浜」にひくわけではないが 公平に見てやはり「小名浜市」と するのが妥当であろう。 「常磐市」もおかしい、磐本市で 何せ悪いのだろうか、併合したと か、されたとか云々云々云々云々 云々感情はさらりと捨てて大衆的な 気持ちで考えて欲しいものだ。 ▲町村合併によつて議員がその任 期を一年延長して届期している ことに對しては、各方面から批判 されている。 合併は経費の節約を大きな目的と している以上、議員の数を減らす 数削減の事、の不合理なはずであ る。 小川町はやはり改選して議員を 示した。 上野野と大澤野の兩村合併による 議員削減も議員総数削減の議が 起されてきたが、仲々実現しなかつ た。 議長佐田由忠氏は強くこれを 主張し、若しの議員削減が入れ られない場合は、議長を辞任す るとの固い決意の下に議員を削減 し、遂に総議員数を減らすこと になった。 十月定期議会、正式決定し、来 春早々改選される運びとなる。 新議員は、干名、現町議より十七 名減となり、合併前の議員削減 が可能となる。

磐城櫻

うまい酒!!

歳末總感謝總反省總奉仕大売出

●感謝● 大黒屋は此處に終戦10年の12月を迎えさせて戴きました (1) 省りますに 当大黒屋を御引立御後援御指導下さいました皆様、御得 意様になんと感謝しなんと御礼申し上げてよいかわかりません。 只感激ある のみで御座ります。 (2) いたらざる奉仕 いたらざる努力 此の終戦10年12月に際し心より 反省させて戴きます。 私共大黒屋は～皆様御得意様に～なにをせねばならないか? 皆様御得意様は～私共大黒屋に～なにを求められているか? を深く考へさせて戴きます。 (3) そして良い点は さらに実行を強化して延ばし悪い点はどしどし改善させて 戴きます。 (4) しかして大黒屋は 本當に皆御お得意様のお蔭で今日ある事を確認させて 戴きまして感謝精進させて戴きます。 (5) この12月 は社長以下全従業員が一かんとりまして 總感謝、總奉仕 總反省の 努力を發表させて戴く覚悟であります。 いたらざる所はどしどし御しかりを下さいまして、さらに一段の御支援 御鞭撻 の程伏してお願ひ申し上げます。 皆様の利益を護る店 社長 馬目勝次郎 以下 全従業員一同

